

ニュースイッチがススめる
NEWSWITCH

CEATEC の歩き方

CEATECは「Combined Exhibition of Advanced Technologies」の略称。最新テクノロジーを活用して、人々の暮らしが豊かになるのかを提案するイベントとして、歴史を積み重ねてきた。今年は20周年のメモリアルイヤー。「Society 5.0の複合展」として、約750社・団体が出展する。ここでは注目のブース、目的別の歩きを紹介する。



トータルソリューション

Society 5.0の実現に向けた製品やソリューションを展示するエリア。多要素の生体認証により随時バックグラウンドで本人認証をするセキュリティーソフトウエア、会話の音声リアルタイムにテキスト化するシステム、医療現場で耳の不自由な人や外国人とのコミュニケーションを支援する検査指示システム、5Gを活用したライブ体験など幅広い展示が行われる。

Co-Creation PARK

国内外のスタートアップ企業や海外パビリオンが出展するエリア。全自動衣類折り畳みタンスのデモ、AI搭載型の特許シミュレーションシステム、無線ホームコントロール技術、極小スピーカーを搭載した女性向けイヤホン、ディープラーニングによる病理画像診断のマーケットプレイスなど、多様な技術が見られる。

デバイス&テクノロジー

Society 5.0の実現を支える、電子部品やデバイス、ソフトウェアなどを展示するエリア。世界最薄クラスのスピーカー、音楽が聞こえる歯ブラシ、人の感情や場の雰囲気可視化するセンシング技術、ロボット開発・サービス提供に必要な機能を備える汎用プラットフォーム、4K8K映像配信ソリューションなどが披露される。

Society 5.0 TOWN

サービス産業を中心とした複数の企業の共創により、「2030年のまち」を構築するエリア。アバターロボットをインターネット経由で操作できるプラットフォーム、既存の社会インフラから独立したオフグリッド型コネクテッド住宅、自律移動する警備ロボット、AI掃除ロボット、IoTを活用した建築やまちづくりなどが見られる。

スマートX

特定の産業に変革をもたらす製品やソリューションを展示するエリア。機械部品の3次元データをアップロードすると数秒で見積もり・発注ができるウェブサービス、IoTで金属加工機械をつなぎ工場をスマート化するソリューション、光触媒による壁掛けタイプの空間除菌・脱臭機、自治体からの情報を地デジ電波で配信するシステムなどが見られる。

日本航空電子工業

日本航空電子工業はSociety 5.0の実現と発展に向け、顧客との協創によってイノベーションを創出する。ブースでは、デモや注力製品・代表製品の展示により、顧客とともに社会に提供していく価値を5つのシーンで紹介する。Industry Innovationシーンでは、フローティング構造による自動組み立て対応、2点接点による高い接触信頼性と、PCIe-Gen3規格相当(8Gbps)の高速伝送コネクタ「AX01」シリーズなどを紹介する。 HALL6 H011

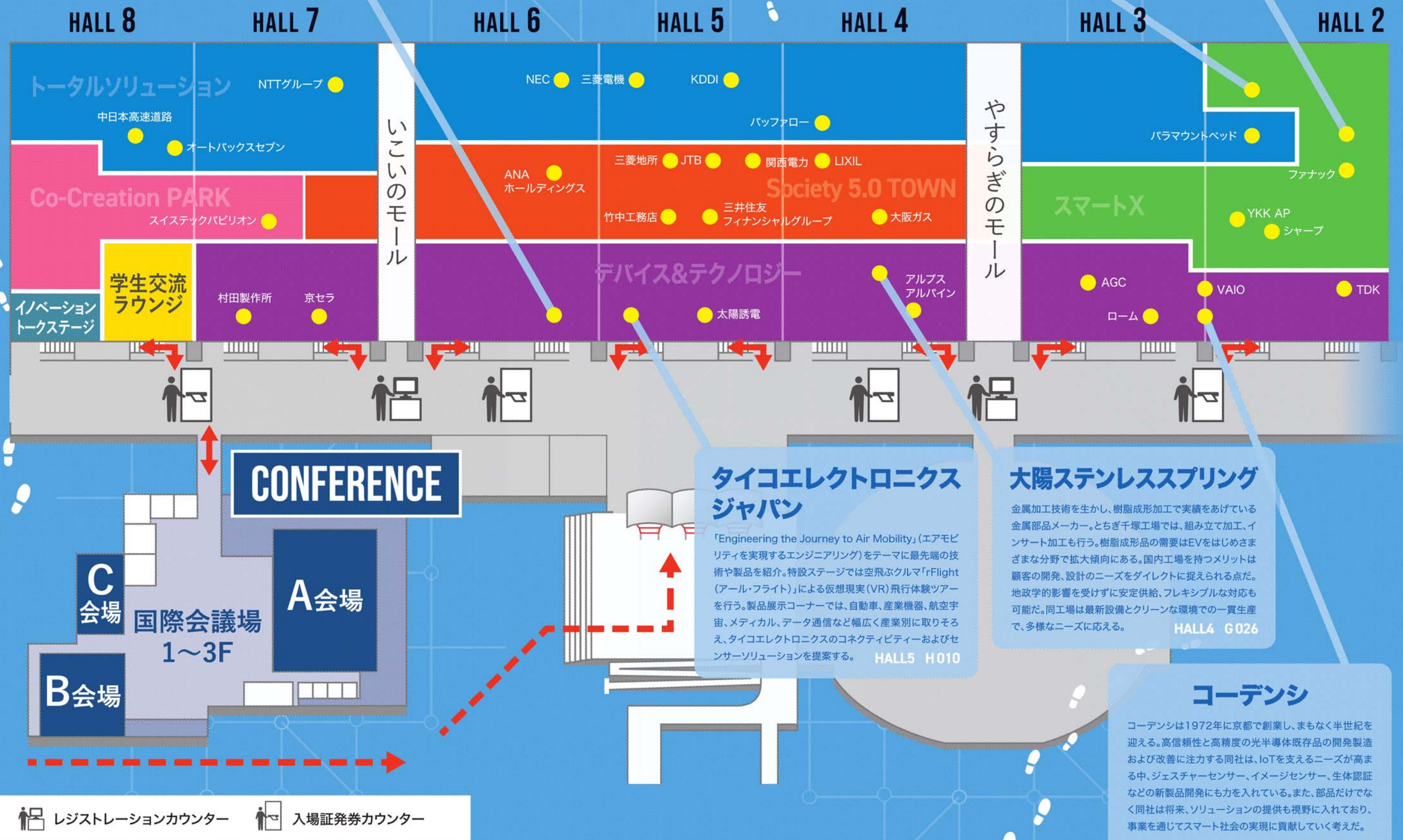
アマダホールディングス

アマダのIoTソリューション「V-factory」は、顧客と当社がIoTでつながることで、金属加工のモノづくりにおける生産計画、進捗管理、マシンの稼働状況などの「見える・見守る」機能を提供する。マシンの予防保全提案や早期復旧を支援する「IoTサポート」サービスも行う。従来、人手では見えなかった工場の「今」の課題を抽出し、変種変量生産や人材不足にも対応した柔軟で生産性の高い「次世代のスマート工場」を実現する。 HALL2 A001

立花エレテック

立花エレテックグループは「製造ラインまるごとスマート化〜エッジコンピューティング技術で自律するものづくり〜」をテーマに、メインブースの「スマートリング製造ミニ工場」で、ロボット、IoT、人工知能(AI)、機器間通信(M2M)を融合させ「まるごとスマート化」した製造ラインを披露する。スマートグラスと音声操作による作業ナビゲーション、3Dプリンティングなど近未来の設計・製造技術も展示する。 HALL2 B001

会場エリアマップ



タイコエレクトロニクス ジャパン

「Engineering the Journey to Air Mobility」(エアモビリティを実現するエンジニアリング)をテーマに最先端の技術や製品を紹介。特設ステージでは空飛ぶクルマ「rFlight(アール・フライト)」による仮想現実(VR)飛行体験ツアーを行う。製品展示コーナーでは、自動車、産業機器、航空宇宙、メディカル、データ通信など幅広く産業別に取りそろえ、タイコエレクトロニクスのコネクティブイヤーおよびセンサーソリューションを提案する。 HALL5 H010

大陽ステンレススプリング

金属加工技術を生かし、樹脂成形加工で実績をあげている金属部品メーカー。とちぎ千塚工場では、組み立て加工、インサート加工も行う。樹脂成形品の需要はEVをはじめさまざまな分野で拡大傾向にある。国内工場を持つメリットは顧客の開発、設計のニーズをダイレクトに捉えられる点だ。地政学的影響を受けずに安定供給、フレキシブルな対応も可能だ。同工場は最新設備とクリーンな環境での一貫生産で、多様なニーズに応える。 HALL4 G026

コーデンシ

コーデンシは1972年に京都で創業し、まもなく半世紀を迎える。高信頼性と高精度の光半導体既存製品の開発製造および改善に注力する同社は、IoTを支えるニーズが高まる中、ジェスチャーセンサー、イメージセンサー、生体認証などの新製品開発にも力を入れている。また、部品だけでなく同社は将来、ソリューションの提供も視野に入れており、事業を通じてスマート社会の実現に貢献していく考えだ。 HALL2 H002

CEATEC 2019 主催者に聞く 目的別 おすすめの歩き方

CEATECに「初めて来場した人」向け

まず外せないのが、展示会場中央の「Society 5.0 TOWN」エリア。三井住友フィナンシャルグループや竹中工務店、JTBや三菱地所などにより2030年のまちを構築する注目度の高いエリアです。テクノロジー企業が集結するのが「トータルソリューション」エリアと「デバイス&テクノロジー」エリア。三菱電機やNEC、NTTグループやKDDI、村田製作所やTDK、アルプスアルパインなどが未来に向けたビジョンや最先端技術を披露します。「スマートX」エリアも注目です。ファナックやアマダ、立花エレテックをはじめとするスマートファクトリー、シャープやYKK APが参画するスマートライフなど、次の時代のスタンダードがここに集います。そしてCEATECの魅力は展示だけではなく、CEATEC KEYNOTEをはじめとする多彩なコンファレンスが国際会議場で開催されます。いずれもお見逃しなく!

何度も来場している「CEATEC通の人」向け

おすすめは国内外のスタートアップと海外パビリオンが集結する「Co-Creation PARK」。スタートアップゾーンは新規出展者が多く、他のエリアと比較しても熱量がとびきり高いエリアです。キラリと光るテクノロジーやソリューションにご注目ください。海外パビリオンは、今年、初設置となる「スイステック・パビリオン」に特に注目が集まります。スイス企業13社が出展するとともに、パビリオン内に設置するドローンステージにおいてデモが開催されます。他にも、「トータルソリューション」エリアにはパラマウントベッドや中日本高速道路、パツファローやオートパックスセブンなど、「デバイス&テクノロジー」エリアにはAGCやVAIOなどが今回初めてCEATECに出展しています。会場内をくまなく回って、共創のきっかけをつかんでください。

未来に興味がある「次世代を担う学生」向け

まずは8ホールの学生交流ラウンジへ。ここは学生のために初めて設けられた情報拠点で、コンシェルジュに相談することもできます。そのあとは会場全体をくまなく回っていきましょう。未来の街を体験したいなら、4-6ホールの「Society 5.0 TOWN」エリア。ANAホールディングスのアバター体験や関西電力や大阪ガス、LIXILのスマートホームなど、ちょっと先の未来のワンシーンを実際に体感してみてください。これからの未来を作るテクノロジーを知りたいなら「デバイス&テクノロジー」エリア。京セラやタイコエレクトロニクス、太陽誘電やロームなどは趣向を凝らした展示で毎年人だかりができるほど。他のエリアにも魅力的な展示がたくさんあります。時間をかければかけるほど、たくさんの新しい発見があるはずなので、ぜひ全エリアを巡ってみてください。



教えてくれた人 CEATEC 実施協議会 ディレクター 吉田 俊さん